

表 4006 APD使用の有無 治療方法(新分類)別(腹膜透析患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり	合計	不明	記載なし	総計
腹膜透析 (CAPD) (%)	2,956 (100.0)		2,956 (100.0)	24	2,041	5,021
腹膜透析 (APD) (%)		1,782 (100.0)	1,782 (100.0)	7	1,050	2,839
腹膜透析 (CCPD) (%)		728 (100.0)	728 (100.0)	4	349	1,081
合計 (%)	2,956 (54.1)	2,510 (45.9)	5,466 (100.0)	35	3,440	8,941
記載なし (%)						
総計 (%)	2,956 (54.1)	2,510 (45.9)	5,466 (100.0)	35	3,440	8,941

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2014年調査